

令和3年度前期 学群教育改善計画

学 群 名	看護学群
学 群 長 名	高橋 和子

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。

※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。

①	課 題	週当たりの授業外の学習（課題レポート・予習・復習など）の時間が、科目によって差があり、授業外の学習時間が平均より短い場合でも、到達目標に対する到達度（自己評価）は、平均値よりも高いものがほとんどである。
	理 由	授業外の学習時間が短く、学修到達度の自己評価も低い場合もあるが、授業外の学習時間が短く、学修の到達度の自己評価は高い科目のほうが多い現状である。授業での学習や、提示された課題の学習に留まり、主体的な学修習慣が身につけていない学生も少なからずいることが推察される。
②	課 題	コロナ禍が続く中、感染対策に留意しながら、講義室を複数使用し、昨年度は困難であったグループワークを取り入れた授業を行った科目が多く見られた。一方で、複数の講義室の使用により進行管理が難しかったり、講堂での授業となったり、通常とは異なる授業環境で、学生の集中力が低下しないよう、工夫しながら授業を行った科目もある。
	理 由	授業にグループワークを組み込んでいる科目が多く、感染対策が必要な状況では、引き続き、講義室調整が必要となる。教員数の少ない科目や、講堂での授業実施は、学修活動が効果的に行われるよう授業運営上の工夫が必要となる。
③	課 題	学生が、集中力が続かない、体力が落ちているなどの理由や、学生の集中力を高めて授業を展開するために、授業中に短時間の休憩を取り入れている科目が複数見られている。
	理 由	90分通しての授業は、学生の集中力が続かない状況があり、授業への集中力が維持できるよう、授業展開での工夫が必要になってきている。

1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。

①	・週当たりの授業外の学習の時間が長い科目は、課題や小テスト等のある科目であることが想定される。「知識や技術、理論の習得に役立った、知的関心が喚起された」の問いでは、値が高くても、学習時間は短い科目もあり、意欲を持って主体的に学習できるよう、関心を持ったことをより深めるような自己学習の促しや、探求型の学習の機会の導入など検討する。また、学生の主体的学修の取り組みを図る方策を検討するFD等を行う。
	・感染対策を継続しながらも、授業計画に基づき、必要なグループワークやアクティブラーニングが実施できるよう、関係部署と連携しながら講義室調整を行う。
②	・グループワークや演習を実施する際の学群内のサポート体制を強化する。
	・講義の際に、講堂を使用する場合は、支障の少ない科目を選定する。
③	・学生が集中できる講義展開の方法等について、会議やFD等で、先駆けて取り組んでいる教員の事例を共有や各自で授業の展開方法の見直しを行う。他の教員の講義視聴なども検討する。

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。

・講義は講義室で一斉授業を行い、技術演習はナースングラボ1で3クラス開講とした。資料はすべて各授業開始前にMoodleにアップロードし、学生が授業内容を予習してから授業に臨めるように配布した。技術試験項目については、動画と評価項目を事前に提示し、評価項目を理解したうえで繰り返し自己学習できるようにした。ナースングラボの自己学習の予約はTeamsを活用し、感染予防対策としてナースングラボ1が密集しないように調整した。

2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。

- ・教授会や教員会議等で紹介し、情報を共有する。
- ・看護学群のFD等を通して、学生の主体的な学修につながる支援方法を検討する。
- ・学修環境や講義室等の活用方法の整備を図ることで、効果的な授業展開につなげる。